



健保法改正後における 医療費の現状

常任理事 鈴木 忠 男

国本医療費は近年毎年約1兆円程度増加してきたが、平成9年度は伸び率が大幅に縮小し、平成10年度の伸び率は、初のマイナスになる可能性もでてきた。

このたび健保法改正(平成9年9月)が北海道における医療費にどのような影響を与えたかを知るために平成8年11月より平成9年10月診療月について北海道社保支払基金および北海道国保連合会より資料提供いただき実数を分析した。件数、点数は季節の変動要因で毎年7月頃より徐々に減少を始め、9月に底を打つのが通例なため、前月比は調べず、すべての比較は前年同月比にて行った。

【社保の部】

北海道の社保診療総点数の推移は、調査開始の平成8年11月より伸び率がすでに例年より縮小しており、平成9年4月からは伸び率がマイナスになっている。同年9月は前年同月比で2.3%減、10月はさらに減少し4.7%減となっている(図1参照)。

受診件数も傾向は同じで、平成9年9月は前年同月比で3.0%減、10月は5.1%減でさらに減少した。この傾向は被保険者(本人)、被扶養者でも同じで、件数・点数の減少は被保険者(本人)の方が、被扶養者よりも減少幅が大きくなっている。

全国の社保支払基金統計(9月分)でも9月医科支払確定件数1.7%減。とくに本人は2.6%減。支払確定金額は8.9%減となっている。ただしこれは患者負担金を除いた医療機関への支払額であり、ただちに医療機関への打撃を指し示すものではない。

【国保の部】

道国保の診療総点数の推移は、調査開始の平成

8年11月より伸び率がすでにほとんどゼロで平成9年7月より10月までは伸び率は連続してマイナスになっている。平成9年9月は前年同月比で0.2%減、10月はさらに減少し0.6%減となっている。受診率の推移は、4月よりすでに伸び率はマイナス。9月は0.6%減、10月は2.1%減となっている。言い替えると9月・10月平均の1件当たりの費用は伸び率0.8%増加したが、受診率低下により、1人当たり費用額は1.1%減、総点数も減少した。

薬剤負担導入による新たな負担については、若人(70歳未満)で、政府試算の平均的ケースは550円の新たな負担となっていたが、これは予想外に、9月で1件当たり薬剤負担額が372円、10月で390円となっており、2カ月の平均1件当たり薬剤負担額は381円となり、試算より約30%低くなっている。

老人保健(70歳以上)でも、政府試算の平均的ケース910円に対し、9月1件当たり薬剤負担額649円、10月677円で、2カ月平均663円となっており、薬剤負担導入による新たな負担増は予想よりも少なかった(表1参照)。

国保中央会のまとめた平成9年度9月診療分の全国の国保医療費の伸び率は全体で3.02%増で、前年同月の伸び率3.98%とくらべると伸び率は明らかに低下しており、制度改正による影響が明らかになっている。とくに老健分をみると、入院外の1件当たり日数は5.07%減と大幅に減少(北海道では9月6.4%減、10月8.4%減でさらに大幅に減少)した。

【まとめ】

以上をまとめると北海道の医療費は調査開始の平成8年11月より伸び率の減少が続いていたが、

平成9年4月の消費税アップの頃より伸び率はマイナスになり、平成9年9月の健保法改正により、薬剤の患者一部負担導入や健保本人負担の2割アップなどの実施によりさらに減少し、10月に入るとその減少幅がさらに拡大している。

加えて、金融機関等の破たんにより経済の悪化が懸念される今日、場合によっては当分マイナスの一途を辿ることも考えられ、平成10年度の国民医療費の伸び率がマイナスに転換する可能性もある。もちろんタクシー料金のように半年位で、もとに戻る可能性もあり、今後注意深く推移を見守る必要がある。

また全日本病院協会、札幌市医師会などの9月診療分のアンケート調査では、外来患者数が200床以上の病院では増加しているが、200床未満では軒並みダウン。病床規模の小さい病院ほどそのマイナス影響が大きい。病院と診療所については、診療所にもっともきびしい影響があらわれている。健保法改正施行(9月)により受診抑制、患者の大病院志向の強化となったことがうかがわれる。

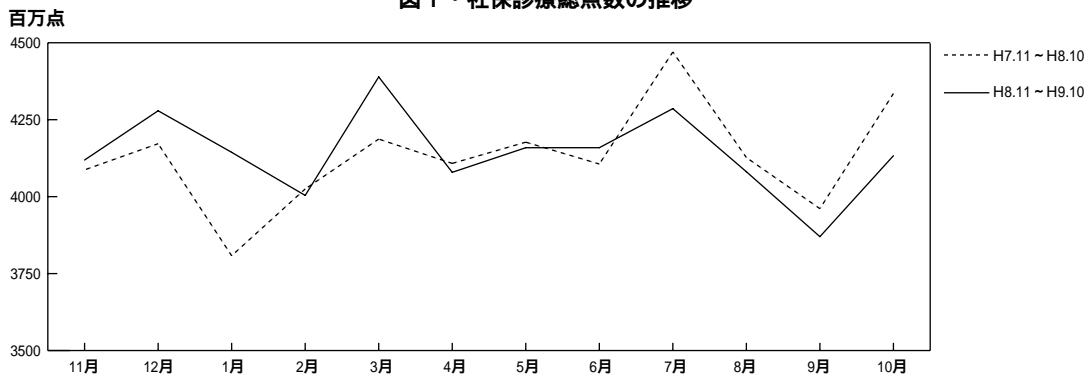
平成10年4月の診療報酬改定は、現在行われている中医協の議論にて決まるが、物価・人件費相当分1.5%と合理化改定分0.7%を合わせ2.2%の引き上げが決着し、一方で薬価等が医療費ベース

で2.8%引き下げられ、差し引き0.6%のマイナス改定となるようだ。

厚生省は1月13日、平成10年度国民医療費は平成9年度改正による縮減効果(2.3%減)と平成10年度医療費適正化等による効果(2.4%減)により、1人当たり医療費伸び率(3.5%増)および加入者数の伸び率(0.3%増)等を見込んで前年度比国民医療費は1.1%減の28.8兆円との推計値を発表している。

ただ推計値ではマイナスでも経験的には薬価も医療費適正化も予想通りには減少せず最終的に全体の伸びはプラスになるとも考えられる。さらに総医療費がマイナスになっても、各医療機関の工夫次第で、薬剤・医療材料などの経費節減にて、可処分所得が増えることも考えられる。また医薬分業を考える会員もいるだろう。出来高評価から包括評価が拡大してきている現在、時代の変化を読み発想の転換が必要な時代になってきている。国や保険者からの医療費抑制策が日を追って厳しさを増し、医療機関の経営は大きく悪化している。良質で効率的な医療を提供するためには、適切な技術評価を行い、その結果が診療報酬に反映される仕組みを作る必要がある。そのための議論をさらに深めていきたい。

図1・社保診療総点数の推移



(単位：百万点)

区分	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
H7.11~H8.10	4,087	4,172	3,808	4,025	4,187	4,108	4,177	4,106	4,470	4,127	3,961	4,335
H8.11~H9.10	4,119	4,279	4,144	4,004	4,389	4,079	4,159	4,159	4,286	4,081	3,870	4,133
前年対比(%)	100.79	102.58	108.84	99.48	104.82	99.30	99.55	101.27	95.88	98.88	97.72	95.33

資料提供：北海道社会保険診療報酬支払基金

表1 一部負担金改正による影響

(1) 薬剤負担導入による新たな負担

		医科(外来)	歯科(外来)	調剤	合計	政府試算	
若人(70歳未満)	9月分	薬剤負担額	271,429,416円	1,738,728円	86,761,098円	359,929,242円	現役世代 (70歳未満) 月2.1回通院し 3種類の薬を 1.5回受け取る (平均的なケース) 550円
		費用額に占める割合	2.50%	0.07%	5.32%	2.39%	
		1件当たり薬剤負担額	372円	14円	452円	343円	
	10月分	薬剤負担額	293,096,045円	1,863,040円	96,528,580円	391,487,665円	
		費用額に占める割合	2.53%	0.07%	5.35%	2.42%	
		1件当たり薬剤負担額	390円	14円	472円	360円	
2カ月平均1件当たり薬剤負担額		381円	14円	463円	352円		

		医科(外来)	歯科(外来)	調剤	合計	政府試算	
老人保健(70歳以上)	9月分	薬剤負担額	341,506,088円	485,030円	71,574,860円	413,565,978円	高齢世代 (70歳以上) 月3.2回通院し 4種類の薬を 2.1回受け取る (平均的なケース) 910円
		費用額に占める割合	3.09%	0.04%	4.15%	2.96%	
		1件当たり薬剤負担額	649円	12円	505円	583円	
	10月分	薬剤負担額	371,985,438円	513,570円	78,139,540円	450,638,548円	
		費用額に占める割合	3.10%	0.04%	4.01%	2.97%	
		1件当たり薬剤負担額	677円	12円	509円	604円	
2カ月平均1件当たり薬剤負担額		663円	12円	507円	594円		

(2) 老人保健一部負担金改正による負担金

		医科	歯科	合計	
入院外	4月~8月の平均	一部負担額	546,213,843円	43,352,637円	589,566,480円
		費用額に占める割合	4.59%	3.59%	4.59%
		1件当たり一部負担額	1,017円	1,020円	1,017円
	9月分	一部負担額	524,295,722円	52,829,920円	577,125,642円
		費用額に占める割合	4.74%	4.53%	4.72%
		1件当たり一部負担額	996円	1,259円	1,016円
	10月分	一部負担額	564,356,126円	54,264,112円	618,620,238円
		費用額に占める割合	4.70%	4.50%	4.68%
		1件当たり一部負担額	1,027円	1,276円	1,045円
	2カ月の平均1件当たり一部負担額		1,012円	1,276円	1,030円

		一部負担金額	費用額に占める割合	1日当たり一部負担額	1件当たり一部負担額
入院	4月~8月の平均	732,521,589円	3.71%	692円	15,244円
	9月分	990,968,590円	5.21%	973円	21,205円
	10月分	1,038,684,500円	5.08%	975円	21,620円
	2カ月の平均一部負担額	1,014,826,545円	5.14%	974円	21,415円

[改正内容]

薬剤一部負担

		投薬毎に1日分につき
内服薬	1種類	0円
	2~3種類	30円
	4~5種類	60円
	6種類以上	100円

		投薬毎に
外用薬	1種類	50円
	2種類	100円
	3種類以上	150円

・頓服薬：投薬毎に1種類につき10円

老人保健一部負担金

入院外 月1,020円 1回500円×上限4回
入院 1日当たり710円 1,000円